

北京日本学研究中心

通 讯

《第十五号》

责任编辑：山下纪久枝 譙燕 邮政编码：100081 Tel: 8422277--584 1991.11.15

1992年硕士研究生招生简章

- 一、招生人数和研究方向：日本语言五名；日本文学五名；日本社会五名；日本文化五名。
- 二、学制和学位授予： 学制两年半，其中半年赴日学习，搜集资料，撰写论文。在学期间修完培养方案中所规定的各门课程，取得规定学分数，通过论文答辩者授予硕士学位。
- 三、指导教师： 中日学者和教授。
- 四、报考条件： 按国家有关规定报考。
- 五、毕业分配： 按国家有关分配规定分配。
- 六、考试科目： 1、基础日语； 2、专业科目； 3、综合(日本概况；汉语) 4、英语； 5、马克思主义理论。
- 七、报名日期： 1991年12月1日-- 5日
考试日期： 1992年2月15日--17日
报名地点： 在当地省市招办组织的报名点报名。
(“中心”备有招生简章)

『日本学研究』第2号·征稿启事

『日本学研究』创刊号预定12月下旬出版。本刊以促进中国日本学研究的发展为目的，是本“中心”的定期年刊。欢迎大家向本刊第2号投稿。来稿要求：①论文(日文1~4万字、中文1~2万字)、②研究笔记(日文1万字以内、中文5千字以内)、③展望(日文1~4万字、中文1~2万字)、④书评(日文1万字以内、中文5千字以内)。只要是有关日本学方面的稿件，领域或内容不限。稿件的刊登与否，由本刊编辑委员会决定。投稿截止日期为1992年5月1日(以当日邮戳为准)。

简 讯

☆10月31日(星期四)，第5期的13名研究生提交了硕士论文。

☆11月25日、26日，将进行第6期研究生硕士论文的第2次中间发表。

公 开 讲 座

- ◇第5次 10月17日(星期四)「日本人是怎样研究中国的」
--以其问题意识为中心 沟口雄三先生
- ◇第6次 10月24日(星期四)「日本人的对人意识和言语行动」 窪田富男先生
- ◇第7次 10月31日(星期四)「鲁迅与周作人」 尾崎文昭先生
- ◇第8次 11月 7日(星期四)「近代化论的再探讨与国际政治」
--从内发型发展论的观点出发 宇野重昭先生
- ◇第9次 11月14日(星期四)「ハ和ガ的区别」 坂口赖孝先生

第四届日本学中日学术研讨会 通 知

为纪念中日邦交正常化20周年,本“中心”将于1992年5月20日(星期三)~23日(星期六)举办「第四届日本学中日学术研讨会」。主要日程如下:

- 5月20日(星期三) 上午:开幕式、纪念讲演 下午:特别讲演 I
5月21日(星期四) 上午:分科会 I 下午:分科会 II
5月22日(星期五) 上午:分科会 III 下午:特别讲演 II
5月23日(星期六) 上午:研讨会(发表) 下午:研讨会(讨论)、闭幕式

现在,正在征集分科会的参加者。(有关详细情况,此后将给各单位发通知。)

发表要领:

- 1、会议参加者分日本语言、文学、文化、社会4个分科会进行发表。
 - 2、使用语言中文、日文均可。
 - 3、发言时间一人20分钟,另有10分钟的讨论时间。
 - 4、论文限尚未发表者,并尽量避免预定在其他刊物上发表者。
 - 5、要求发表者提交论文(日语8000字~12000字、中文6000字~10000字)。
- 会后,准备把优秀论文汇编成论文集。

报名办法:

请报名者于1992年2月17日(以当日邮戳为准)以前,把「发表题目表」、「论文摘要」邮寄“中心”学术研讨会委员会。「发表题目表」请使用规定用纸;「论文摘要」日语2000字以内,中文1600字以内。「中文摘要」请附上日语译文。

▲通知:为保证“中心”「通讯」、通知等准确地邮送到每位毕业生手中,“中心”准备就所有毕业生(包括研究生、进修班学员)的工作单位、通讯地址等进行一次全面的调查。请全体毕业生积极配合,正确填写后附「调查表」,尽快寄回“中心”。此后,如有变化,请随时寄来您新的地址。也欢迎知道情况的同志转告。谢谢合作。



1992年度 大学院修士課程募集要項

1. 募集人員と専修：日本語学5名、日本文学5名、日本社会5名、日本文化5名
2. 修業年限と学位：修業年限は2年半とし、その間半年の訪日研究時に資料を集め、論文を書くこととする。在学期間内に「培養方案」に定められた所定の課程を修了し、所定の単位を取得した上で、修士論文の口述試問に合格した者には、修士学位を授与する。
3. 指導教師：中日両国の学者・教授
4. 応募資格：国家の関連規定に基づく。
5. 卒業後の就職について：国家の関連規定に基づき統一配属を行う。
6. 試験科目：(1) 基礎日本語、(2) 専門科目、(3) 総合（日本概況、中国語）、(4) 英語、(5) マルクス主義理論
7. 出願期日：1991年12月1日～5日
試験期日：1992年2月15日～17日
出願場所：各省・市の募集事務所が組織した出願所。

(詳細は「北京日本学研究中心一九九二年招生簡章」参照。)

『日本学研究』第2号・投稿募集

『日本学研究』創刊号は、12月下旬に出版される予定です。本誌は、中国における日本学研究的発展に資することを目的とした、本センターの定期刊行物です。この目的に賛同する方々の、本誌第2号への投稿を歓迎します。投稿の種別は、①論文（日文1～4万字、中文1～2万字）、②研究ノート（日文1万字以内、中文5000字以内）、③展望（日文1～4万字、中文1～2万字）、④書評（日文1万字以内、中文5000字以内）です。

日本学に関するものであれば、投稿の分野や内容は問いません。ただし、本誌への掲載については、編集委員会にご一任ください。

なお、投稿締切期日は、1992年5月1日（当日消印有効）とします。

ニ ュ ー ス

☆10月31日（木）、大学院第5期生13名が修士論文を提出した。

☆11月25日、26日に、大学院第6期生の修士論文・第2回中間発表会が行われる。

公開講座

- ♡第5回 10月17日(木) 「日本人はどのように中国を研究してきたか
—— その問題意識をめぐって」 溝口雄三先生
- ♡第6回 10月24日(木) 「日本人の対人意識と言語行動」 窪田富男先生
- ♡第7回 10月31日(木) 「魯迅と周作人 —— 知日派の運命」 尾崎文昭先生
- ♡第8回 11月7日(木) 「近代化論の再検討と国際政治
—— 内発的発展論の見地から ——」 宇野重昭先生
- ♡第9回 11月14日(木) 「ハとガの相違について」 坂口頼孝先生

第4回日本学中日シンポジウム 分科会・発表者募集

中日国交正常化20周年を記念して、1992年5月20日(水)～23日(土)、本センターにおいて「第4回日本学中日シンポジウム」を開催します。主な日程は、以下の通りです。

5月20日(水) 午前：開幕式、記念講演 午後：特別講演Ⅰ

5月21日(木) 午前：分科会Ⅰ 午後：分科会Ⅱ

5月22日(金) 午前：分科会Ⅲ 午後：特別講演Ⅱ

5月23日(土) 午前：シンポジウム(発表) 午後：シンポジウム(討論)、閉幕式

現在、分科会の発表者を募集しています。(詳細は、後日、各所属先に通知します。)

発表要領

1. 発表は、日本語学、日本文学、日本文化、日本社会の4部会に分けて行う。
2. 発表の使用言語は日本語、中国語のいずれも可とする。
3. 発表時間は1人20分以内とし、その後、10分程度の質疑応答を行う。
4. 発表の内容は未発表のもの、および発表される予定のないものとする。
5. 発表者は、論文(日本語8000～12000字、中国語6000～10000字)を提出すること。優秀論文は後日「シンポジウム論文集」に掲載する予定。

応募要領

発表希望者は1992年2月17日(当日消印有効)までに、①発表題目表、②発表要旨を添えて、当センターシンポジウム委員会宛に、郵送で申し込むこと。

①「発表題目表」は、所定の用紙を使用すること。②「発表要旨」は日本語2000字以内、中国語1600字以内とする。中文要旨には日本語訳を添付すること。